

平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フルヤ金属

コード番号 7826 URL <http://www.furuyametals.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古屋 堯民

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 榎田 裕之

TEL 03-5977-3377

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	11,452	△21.8	1,005	132.5	1,080	137.9	674	—
26年6月期第2四半期	14,643	0.2	432	△32.0	454	△27.4	△3,361	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	94.26	93.91
26年6月期第2四半期	△469.76	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第2四半期	21,966	14,507	65.8
26年6月期	22,230	14,109	63.3

(参考)自己資本 27年6月期第2四半期 14,462百万円 26年6月期 14,071百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	40.00	40.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,400	△14.5	2,200	79.1	2,230	78.5	1,400	—	195.52

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期2Q	7,265,212 株	26年6月期	7,265,212 株
27年6月期2Q	103,934 株	26年6月期	105,934 株
27年6月期2Q	7,265,212 株	26年6月期2Q	7,265,212 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、米国経済の順調な回復などを背景に急激な円安が進行したことで、輸出環境の改善期待から株式市場も活況を呈したものの、消費税増税前の駆け込み需要の反動と天候不順による個人消費の伸び悩みに加え、円安に伴う原材料価格の上昇、緊迫する中東やウクライナ情勢、中国・ロシア経済の減速感など先行き不透明な状況が続きました。

このような経済環境の中、各種電子部品や半導体の市況は、スマートフォンやタブレット端末関連需要に支えられて好調を維持し、リチウムタンタレート単結晶育成装置向けイリジウムルツボや、半導体製造装置向け温度センサーの受注も堅調に推移しました。また、人工サファイア単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注が回復し、サーバー向けなどの需要増加を背景にHD向けルテニウムターゲットの受注も回復基調が続きました。一方、一部の貴金属価格の下落に伴い、第1四半期会計期間においてたな卸資産の評価減を実施し、製造原価に54百万円を計上いたしました。

その結果、当第2四半期累計期間において、売上高11,452百万円(前年同四半期比21.8%減)、売上総利益1,990百万円(前年同四半期比40.8%増)、営業利益1,005百万円(前年同四半期比132.5%増)、経常利益1,080百万円(前年同四半期比137.9%増)、四半期純利益674百万円(前年同四半期は、3,361百万円の四半期純損失)となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①セグメント別の業績

[電子]

前年同四半期比貴金属価格の下落から販売単価が下がったものの、スマートフォンなどのSAWフィルター(必要な周波数信号を取り出すデバイス)に使用されるリチウムタンタレート単結晶育成装置向けのイリジウムルツボやガラス溶解装置向けの強化白金ルツボの受注が堅調に推移したほか、LED基板に使用される人工サファイア単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注も回復し、売上高6,014百万円(前年同四半期比37.8%減)、売上総利益1,310百万円(前年同四半期比40.9%増)となりました。

[薄膜]

スマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットの受注が伸び悩んだものの、HD向けルテニウムターゲットは、サーバー向けや4Kテレビ向けなどの需要から受注が回復し、売上高2,813百万円(前年同四半期比9.1%増)、売上総利益398百万円(前年同四半期比126.0%増)となりました。

[センサー]

半導体製造装置メーカーや、海外半導体メーカーからの受注が堅調に推移し、売上高743百万円(前年同四半期比1.3%減)、売上総利益231百万円(前年同四半期比9.7%増)となりました。

[その他]

使用済み電極の回収精製がやや伸び悩んだものの、第1四半期に有機EL向け貴金属化合物の受注が増加し、当第2四半期には触媒製造事業も立ち上がったことから、売上高1,880百万円(前年同四半期比14.3%増)、売上総利益105百万円(前年同四半期比9.1%増)となりました。

②海外売上

当第2四半期累計期間における輸出売上高は2,455百万円(総売上高に占める割合は21.4%)となりました。

地域別にはアジア向け輸出売上高1,632百万円(海外売上高に占める割合は66.5%)、北米向け輸出売上高786百万円(海外売上高に占める割合は32.0%)、欧州向け輸出売上高36百万円(海外売上高に占める割合は1.5%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は21,966百万円(前事業年度末比263百万円の減少)、負債は7,459百万円(前事業年度末比661百万円の減少)、純資産は14,507百万円(前事業年度末比397百万円の増加)となりました。

①流動資産

当第2四半期会計期間末における流動資産残高は12,222百万円となり、前事業年度末比437百万円増加いたしました。これは売掛金が823百万円減少しましたが、たな卸資産が510百万円、現金及び預金が459百万円、未収消費税が203百万円増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第2四半期会計期間末における固定資産残高は9,744百万円となり、前事業年度末比700百万円減少いたしました。これは有形固定資産が346百万円、繰延税金資産が347百万円減少したことが主な要因であります。

③流動負債

当第2四半期会計期間末における流動負債残高は4,415百万円となり、前事業年度末比837百万円減少いたしました。これは短期借入金が800百万円減少したことが主な要因であります。

④固定負債

当第2四半期会計期間末における固定負債残高は3,044百万円となり、前事業年度末比176百万円増加いたしました。これは長期借入金が168百万円増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第2四半期会計期間末における純資産残高は14,507百万円となり、前事業年度末比397百万円増加いたしました。これは繰越利益剰余金が384百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間の業績動向を踏まえ、平成26年8月6日付「平成26年6月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表しております平成27年6月期業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成27年1月30日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	701	1,160
受取手形	82	122
売掛金	3,357	2,534
商品及び製品	755	1,295
仕掛品	734	945
原材料及び貯蔵品	5,164	4,923
前払費用	47	69
繰延税金資産	674	642
関係会社短期貸付金	101	131
未収消費税等	161	365
その他	5	32
流動資産合計	11,785	12,222
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,541	2,657
構築物(純額)	50	60
機械及び装置(純額)	3,273	3,709
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	40	39
土地	1,612	1,612
リース資産(純額)	62	53
建設仮勘定	902	3
有形固定資産合計	8,482	8,135
無形固定資産	103	96
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
関係会社株式	117	117
保険積立金	19	22
長期前払費用	5	4
繰延税金資産	1,649	1,301
その他	60	60
投資その他の資産合計	1,858	1,512
固定資産合計	10,444	9,744
資産合計	22,230	21,966

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,980	2,059
短期借入金	800	—
1年内返済予定の長期借入金	1,735	1,618
リース債務	30	28
未払金	255	287
未払法人税等	27	40
賞与引当金	154	200
役員賞与引当金	25	—
設備関係未払金	79	36
前受金	93	35
その他	70	109
流動負債合計	5,252	4,415
固定負債		
長期借入金	2,079	2,247
リース債務	40	31
退職給付引当金	322	340
長期未払金	406	406
資産除去債務	15	15
その他	4	4
固定負債合計	2,868	3,044
負債合計	8,121	7,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本準備金	5,414	5,414
利益準備金	9	9
別途積立金	80	80
繰越利益剰余金	3,442	3,827
自己株式	△319	△313
株主資本合計	14,071	14,462
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
評価・換算差額等合計	△1	△1
新株予約権	38	45
純資産合計	14,109	14,507
負債純資産合計	22,230	21,966

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	14,643	11,452
売上原価	13,230	9,461
売上総利益	1,413	1,990
販売費及び一般管理費	981	985
営業利益	432	1,005
営業外収益		
受取利息	1	0
為替差益	41	94
助成金収入	—	9
雑収入	23	10
その他	0	—
営業外収益合計	66	115
営業外費用		
支払利息	38	31
デリバティブ評価損	6	0
雑損失	0	8
営業外費用合計	44	40
経常利益	454	1,080
特別損失		
たな卸資産評価損	6,480	—
特別損失合計	6,480	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△6,026	1,080
法人税、住民税及び事業税	8	26
法人税等調整額	△2,672	378
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,361	674

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△6,026	1,080
減価償却費	267	271
受取利息及び受取配当金	△1	△0
支払利息	38	31
為替差損益(△は益)	△41	△94
売上債権の増減額(△は増加)	△1,137	868
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,461	△510
仕入債務の増減額(△は減少)	1,349	110
未収消費税等の増減額(△は増加)	105	△203
前受金の増減額(△は減少)	39	△58
その他	△20	40
小計	34	1,536
補助金の受取額	—	199
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△36	△30
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	189	△29
営業活動によるキャッシュ・フロー	188	1,675
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	—	△1
有形固定資産の取得による支出	△362	△157
関係会社貸付けによる支出	△32	△20
その他	△2	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△397	△182
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200	△800
長期借入れによる収入	1,200	1,000
長期借入金の返済による支出	△883	△949
ストックオプションの行使による収入	1	2
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△286	△286
財務活動によるキャッシュ・フロー	△168	△1,033
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△375	459
現金及び現金同等物の期首残高	1,729	701
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,353	1,160

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	9,667	2,577	753	1,644	14,643
セグメント利益	929	176	211	96	1,413

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

- II 当第2四半期累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	電子	薄膜	センサー	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	6,014	2,813	743	1,880	11,452
セグメント利益	1,310	398	231	105	2,045

(注) セグメント利益の合計額は、たな卸資産評価減前の売上総利益であり、当第2四半期累計期間損益計算書の売上総利益と一致していません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,045
たな卸資産評価減	△54
財務諸表の売上総利益	1,990